

あさひの日だまり

NO.34

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～来年度の学校運営に関して～

1つの取り組みを紹介します

現在学校では本年度の反省をふまえて来年度の計画が進んでいます。子どもたちの様子を振り返ったり職員が感じていることを出し合ったりしながら子どもたちと先生方にとってより楽しい学校となるように先生方と知恵を出し合っています。その中の一つの取り組みとして「プロジェクトからの提言」というものがあります。今年は2つのプロジェクトが立ち上がりました。先生方の必要感から立ち上がったプロジェクトです。全職員がどちらかに所属して来年度の方向に関して意見交換をしてきました。そして校長に「来年度はこうして欲しい」との提言が手渡されました。先生方が本気になって考えて下さった提言です。お受けした提言を私も精一杯に受け止め考えさせてもらいました。

この紙面をお借りしていくつかの提言を紹介させていただきたいと思います。

「時数・年間計画プロジェクト」からの提言

「15分学習の時間を無くしたい」理由としては以下の通りである。

- ・子どもたちの心のゆとりと自由な活動が保障される時間を確保したい。
- ・先生同士で相談したり授業の話をしたりする時間を確保したい。
- ・授業作りに関して話をする中で楽しい授業が構想できて子どもたちが授業が楽しみになり、不登校や不適応を起こす子が減ることが期待できる。
- ・児童は早く帰って遊べる。しっかり休める。
- ・先生方もゆとりが生まれる。職員同士のコミュニケーションが生まれる。授業準備ができる。
- ・授業に関わる話ができることで、「あさひの時間」の充実を図ることができる。
- ・教科書を教えるのではなく教科書で教える授業作りに取り組める。
- ・楽しい授業 探究する授業 自主学習 等に取り組める。

「年間計画に関して」次のように提言する。

- ・体力テストを「全校体力テストの日」を設定して全校一斉に仲良班で行いたい。その際実施日は午前中をすべて使って体力テストを行いたい。
- ・家庭訪問をゴールデンウィーク前にしたい。
- ・1年生をむかえる会を5月ではなくできるだけ早めに設定してあげたい。
- ・防災訓練において年度当初引き渡し訓練を行いたい。実際の災害が起きた際には、集団下校よりも引き渡しの方が行う可能性が高いので。
- ・引き渡し訓練・交通安全教室・不審者対応等の訓練は災害発生に備えてできるだけ早いうちにやるのが大切。
- ・「絵をかく旬間」を9月に設定し10月に行われる各種コンクールに間に合わせたい。
- ・まゆだま作り サツマイモ作り 凍り餅 平和学習に関しては年暦に位置づけられているが子どもの学びの文脈にするには年暦にはめ込んでしまうと時期が限定されてしまうので弾力的な運営にできないか。

校長としての回答

校長として「全て提言通りとしたいです」とお答えしました。15分学習に関しては漢字練習や計算ドリル、学級活動等に利用されており大変貴重な時間であると考えています。学校評価アンケートにも「15分学習を大切にしたい」というご意見がありました。子どもたちの学力保障の時間にもなっており確保することの意味は分かっています。それでも来年度はこの時間を無くしたいと思います。ただ単に無くすだけではいけないことは十分に分かっています。そこで生まれた時間をより有効に使いたいと思います。そして生まれた時間を子どもたちのためになるような時間として活用します。大切にしたいことの一つは先生方の授業づくりの時間の確保です。先生同士が心に余裕を

もって情報交換する中で楽しい授業のアイデアが浮かんでくると思います。子どもたちが「授業って楽しい」と思ってくれたらこんなに嬉しいことはありません。

子どもたちとの活動の時間にもなります。子どもたちが自由に使える時間としたいです。家に帰ってよし、学級活動があってよし、児童会活動があってよし、自主学習の時間でもよし、遊びの時間でよしと思っています。

来年度はこの方向で取り組んでみます。1年たったところで保護者の皆様のご意見もお聞きしながら改良を加えていきます。どうぞご理解下さい。

生活の決まり・研修プロジェクトからの提言

「校内生活の約束」の内容に関する修正点に関して

- ・「長い髪の方は学習や活動のじゃまにならないようにゴムでしばります」は髪の長さと学習とはそれほど関係が見られないので不要と考える。
- ・学習に不必要なもの（シャープペンシル、・・・・・・）からシャープペンシルは除き、新しく項を起こし、「4年生以上はシャープペンシルを利用することができるが利用する本数は学校へ1本を持参し利用します」とする。
- ・「教室ではボールで遊びません」の一文を削り「体育館とグラウンド以外ではボールで遊びません」とする。
- ・「教室での帰りの会終了後、教室廊下に整列し、担任先導で並んで児童玄関まで移動する。玄関の出口で担任が帰宅する児童を心静かに見送る。これにより下校時間には、地区ごとに一緒に帰宅できるので、下校時刻が守られ不審者対策にもつながる。尚、低学年は（各学年の実情に応じて）年間通して玄関前に集合して帰宅する」を以下の文章に修正する。を以下のような文章に修正する。

「教室での帰りの会終了後、教室廊下に整列し、並んで児童玄関まで移動する。玄関の出口で担任は見送る。尚、低学年は各学年の実情に応じて年間通して玄関前に集合して帰宅してもよい」

- ・子どもの実情に合わない掲示物は掲示しないこととし、できるだけ子どもたちの注意が散らないように配慮する。
- 「合理的配慮及び支援の必要な子どもへの指導に関して」の提言。

現在各学級で特性を抱えた児童の指導に懸命に取り組んでいるが、なかなか成果が上がらず悩んでいる職員が多い。研修の機会を確保し専門的な知識を取り入れ、是非その子に即した指導ができるように力量を高めたい

校長としての回答

「提言の通りに来年度は取り組みたい」とお答えしました。シャープペンを使ったからといって勉強に悪影響があるわけがありません。ただし鉛筆を使い始めの子どもたちは正しい持ち方を体得するために六角形の鉛筆が良いことも確かですので提言の通りがよいと考えました。

また、教室内の掲示物ですが、子どもによっては掲示物に注意が行ってしまい学習に集中できない子もいます。前時の学習が継続しているような場合には前時を想起するための掲示物が必要になりますが、そこになくてもよい掲示物が結構あります。そのようなものは子どもたちのためにできるだけなくしていきたいと思います。

児童支援に関する研修についての提言をいただきました。とても大切にしたいことの一つです。現在多くの教室で多様な特性を持った児童の指導に先生方は悩みながら懸命に取り組んでいます。さっそく4月の年度末休業に研修を位置付けたいと思います。また、長期休業等に専門家を招いての研修や校内で研修を深めている先生のお話を聞く機会を設けたいと思います。

～参観日へのご来校ありがとうございます～

現在各学年ごとに参観日が行われております。保護者の皆様のご来校に心より感謝申し上げます。

2年生の授業でお家の方へ感謝のお手紙を渡すという場面がありました。子どもたちが後ろにいるお家の方へお手紙を届けました。

お家の方が思わずお子さんを抱きかかえられていました。顔を温かな掌で包んでおられました。頬を何度も撫でておられました。子どもが思わずお家の方に抱きついていました。私は思わず胸が熱くなりました。そしてかけがえのないお子さんをお預かりしている学校の使命を改めて強く感じました。

